





野方消防署からのお知らせ

ガソリン・灯油等を安全に取り扱うための注意事項

ガソリン・灯油・軽油の危険性について

	ガソリン	灯油・軽油
引火点	-40℃以下	40℃~45℃
空気比重	3~4	4~5
危険性	可燃性蒸気は空気より3~4倍重い ため低所に滞留しやすく、 静電気や電気火花等で容易に 引火し、爆発的に燃焼します。	ガソリンと同様に低所に滞留しやすく、 可燃性蒸気の量は少ないが、 火気等があれば火災に至る危険性 があり、注意が必要です。
保管方法	消防法の基準に適合した金属製の 専用携行缶にて保管できます。  <p>携行缶</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>試験確認済証が安心の目印です。</p>  </div>	ラベルの付いた専用のポリ容器で、 直射日光を避け、風通しの良い 場所で保管してください。  <p>ポリ容器</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>型式試験確認済証が安心の目印です。</p>  </div>
消防法の規制 ※	200リットル以上の貯蔵・取扱い	1000リットル以上の貯蔵・取扱い
火災予防条例の規制 ※	40リットル以上の貯蔵・取扱い	200リットル以上の貯蔵・取扱い

※ 消防法または火災予防条例の規制に該当する場合は、位置・構造・設備について定められていますので、詳しくは消防署にお問い合わせください。

携行缶やポリ容器を使用する場合は、消防法に適合した容器を使用し、取扱説明書をよく読んでください！！



ガソリンは、プラスチックを溶かす性質があるのでポリ容器は絶対に使用しないでください！！